

\*\*\*\*\*

第 102 回関西スペイン語教授法ワークショップ(TADESKA) 開催の報告

★ Reunión del Taller de Didáctica de Español de Kansai

\*\*\*\*\*

日時：2016 年 10 月 8 日（土） 10:30 - 12:30

場所：関西学院大学梅田キャンパス(ハブスクエア) 1004 教室

担当者：村上陽子

GIDE(2015)『スペイン語学習のめやす』を利用して所要時間 20 分の教案を作る

テーマ 2：日常生活（『学習のめやす』 pp.42-43, pp.107-108）

Elaboración de unidades didácticas de aproximadamente 20 minutos utilizando "Un modelo de contenidos para un modelo de actuación"(GIDE 2015)

Tema 2/ Vida cotidiana（“Un modelo de contenidos”：pp.42-43, pp.107-108）

\*\*\*\*\*

## 1. 今回の教案の出発点

2015 年に受講する機会を得た『外国語学習のめやす』研修で、「外国語教育は人間教育の一環である」という提言を実感する活動を行い、単に外国語に関する知識の教授だけでなく、学習した外国語を用いて世界とつながり、教室を自他を知る活動の場にしたいとはっきりと意識するようになった。また、協働や ICT の利用などを授業に取り込むことはそれほど難しいことではなく、私たち外国語を教える教師たちも、外国語学習を通じて学習者が 21 世紀を生き抜く力を身に付けられるような学びの機会を提供することができることを知った。

しかし、授業形態によっては大きなプロジェクトは実施困難であり、何ができるのか、どのようにやればよいのかが分からないということは、きっと外国語を教えるもの共通の悩みであると考え。『スペイン語学習のめやす』は普段の学習内容や身近なテーマを使って、大小さまざまな活動を組み立てることを可能にするヒントを多く提供してくれており、これに沿った活動を考え、実施してみたいとの希望から今回の教案作成に至った。

## 2. 教案のテーマと活動内容

「生活習慣を比べよう」をテーマに、以下の活動から成る。

- ①コロンビアの大学の時間割（朝 6 時から授業が始まる）をそれとは明かさずに見せ、学生は何であるかをペアで考える。
- ②コロンビアの生活習慣に関する短いテキストを読み、内容理解に関する問いに答える。
- ③ペアで日本の習慣との比較を行う。その際、インターネットで統計など見るなど情報収集を行う。講読したテキストを参考に、比較した内容をスペイン語で書く。

スペイン語圏の「文化」を授業の内容に取り入れようとする時、スポーツや音楽、世界遺産など目を引く文化的テーマを扱うことがよくあるが、スペイン語話者がどのような日常

を送っているのかという身近な cultura も異文化理解に欠かせない重要なトピックである。また、文化的背景を考え、自己を振り返るといった活動にすれば、新しいことを知るだけでなく、自己の発見と省察を活動に盛り込むことができる。

私たちは日々、大量の情報に囲まれ、その多様性ははかりきれない。さらに今や誰もが発信者になれる。日本語や英語を介さず、スペイン語による情報を理解することができれば世界はより広がり、スペイン語で発信することができれば新しい人々となつなることができる。この実現に近づく練習になるように「読む」と「書く」ことを行う活動とした。文法導入のための活動ではなく、すでに学習した文法を使用する活動である。

授業時間中にすべての活動を行う時間がない場合は、ペア活動までを教室で行い、その結果を書く作業は宿題にすることができる。初級レベル向けの活動ではあるが、講読テキストに注を付けたり、文法項目に疑問文、比較表現、不完了過去をプラスしたりすれば、レベルの上下を調節できる。ペアが組みづらい学生のいるクラスでは個人で実施することも可能である。

### 3. 『スペイン語学習のめやす』における指標

モード	解釈モード（書かれた情報を理解できる）＋提示モード（自国の生活の生活時間帯、習慣について発表できる）
テーマ	2 日常生活 家庭、大学、職場で
社会文化項目	生活習慣
語用論に関わる項目	なし
機能項目	時間と時間帯について情報を与える
語彙項目	時刻と時間、日々の活動（教育機関、職場...）
文法項目	直説法現在 規則・不規則活用(abrir, empezar...)、再帰動詞(levantarse, acostarse)、時の副詞＋基数(a las seis...)、前置詞
「21世紀スキル」	インターネットで情報収集（＋出典の扱い方）

### 4. 授業での実施

以上のような内容の活動を受講生の約9割が再履修生であるクラス（受講生数35名）で実施した。再履修生の多くは教科書の練習問題はすでに一度やっけてしまっており、何か新しい練習問題を常に探しては渡していた。しかし、たださえ語学が苦手な学生に文法の練習問題ばかり与えても、あまり効果がないような気が常々していた。さらに、「自分ではできない」と決めてかかっている学生も多かった。テキストは短いけれど、辞書を引いて読んでみたら意外と理解でき、そのテキストのスペイン語をまねながら書いてみたら書けた、という成功体験をしてもらいたかった。しかし、普段の出来栄を知っている学生の顔を想像して作ったものとはいえ、失敗体験となったらどうしようか、と心配もしていた。

負担軽減につながれば、と考えて、すべての活動をペア活動にした。普段はそれほど和気あいあいとしているクラスではなかったが、この時はペアで楽しそうに相談している声で教室の雰囲気のがらりと変わった。2番の講読については和訳はせず、数人に日本語で要約を言わせ、新出語句を板書して意味を確認し、全員で音読した。2番と3番のスペイン語で書く活動については、数人に板書させ、添削した。小さな誤りはあるものの全員がほぼ正しく書けていた。次週の小テストに2番と3番で書いたスペイン語を丸ごと出すことにし、自分の書いたものに自信がない人は帰り際に見せに来るように伝えた。

小テストは残念ながら満点続出、という結果にはならなかったが、毎回授業終了時に提出させているコメントカードには「自分の書いた文を覚えるなんて責任が重い。今まで真剣に文を書いたことがなかったんだと思う」「統計が面白かったです。レポートで使います」「今日の授業は勉強してるなあという感じだった」など肯定的なコメントが多く、やったかいがあったと思えた。

## ¿A QUÉ HORA?

1. これは何だろう？内容に関して日本との違いは？ペアで考えよう。

### Inicio de clases en Ciudad Universitaria

13 de julio

Lógica Matemática

AULA 10-103

**GRUPO**

**DÍAS**

**HORA**

**01**

**Lunes - Miércoles - Viernes**

**06:00-08:00**

**02**

**Lunes - Martes - Jueves**

**08:00-10:00**

**03**

**Lunes - Miércoles- Viernes**

**10:00-12:00**

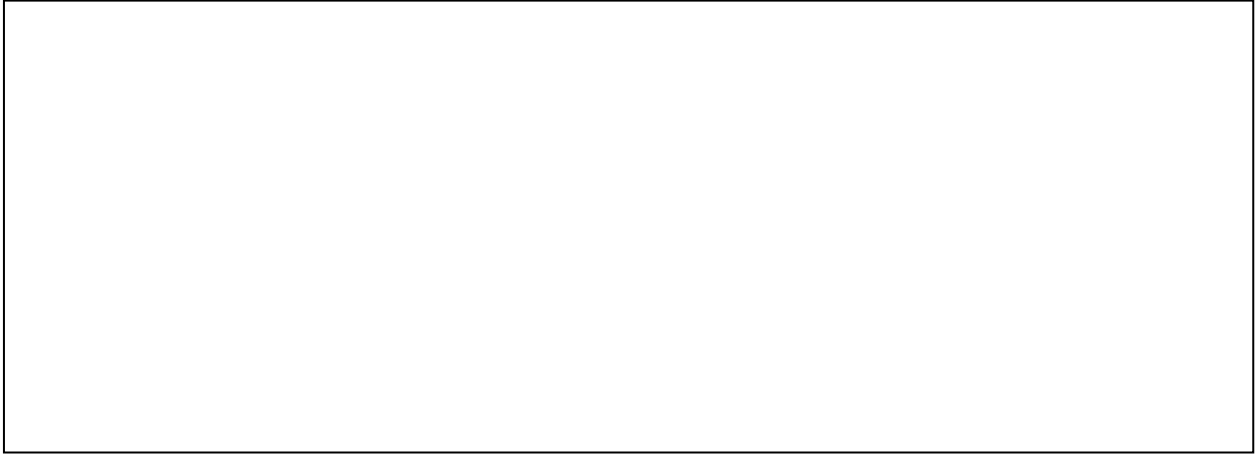
2. 次のテキストをペアで読んで、本文で扱われている4つの活動の時刻と活動をスペイン語で抜き出そう。

En Colombia, las clases de universidades empiezan a las seis. Las oficinas y tiendas abren a las ocho. Generalmente la gente se levanta temprano entre semana. Una de las razones por esta costumbre es la tradición de vida campesina. Quieren empezar la jornada con el amanecer, alrededor de las seis de la mañana. Como se levantan temprano, se acuestan también temprano, a las diez de la noche.

<i>a las seis</i>	<i>Las clases de universidades empiezan.</i>

3. 2で抜き出した活動について、日本では一般的に何時ごろ行われるだろうか。分からないことがあれば、検索ワードをよく考えてインターネットで調べ、2を参考にしながらペアでスペイン語で書いてみよう。

参考：総務省 社会生活基本調査

A large empty rectangular box with a thin black border, intended for students to write their answers in Spanish. The box is currently blank.